

2018年2月10日（土）、関西学院大学大阪梅田キャンパスにおいて、産業研究所×日本貿易振興機構（JETRO）×日本貿易学会 合同貿易研究セミナーを開催いたしました。

藤沢武史 関西学院大学商学部教授 産業研究所長による開会挨拶の後「日 EU 間の貿易と対 EU 直接投資に関する考察」、麻野良二 株式会社アール FTA 研究所長から「日 EU・EPA の意義と日本企業にとっての効果と課題—TPP、CPTTP 及び日本の EPA との比較において—」、花木正孝 近畿大学准教授から「TSU-BPO 取引の現状と今後～貿易金融における FinTech の可能性」、笹倉慎太郎 ササクラ株式会社 専務取締役から「海水淡水化市場とマーケティング戦略」、清水源也 伊藤忠商事株式会社 執行役員 ファッションアパレル第二部門長から「伊藤忠商事・繊維事業に於けるハイブリッド戦略—ベトナムに於ける貿易と投資事例—」、曾根一朗 JETRO 大阪本部長から「日系企業の対米直接投資の現状と第4次産業革命に伴う新たなビジネスチャンス」のご講演をいただき、最後に鈴木清巳 京都産業大学教授 日本貿易学会理事 西部事務局長から閉会挨拶をいただきました。

貿易の理論、制度、政策、実務の面から貿易と投資の実態を究明しました。

■参加者：51名

